

あおもり 国際交流つうしん

国際交流情報誌

3

2021
No.140

2021年度「青森県日本語指導サポーター養成講座」

2021年4月10日(土)から全11回の「青森県日本語指導サポーター養成講座」がスタートします。

この講座は、青森県国際交流協会が青森大学と連携して行います。外国人が日本語学習などを行う場合の「サポーター」を養成することを目的としています。すでに日本語を教えている方や、支援活動を行っている方も対象となります。今年度の募集定員は35名です。

昨年の講座では、受講生は「日本語教育とは何か」、「外国につながる子供たちとは?」「介護の日本語」などの講義とともに、ワークショップに励みました。そして講座終盤3回では、県内在住の外国人を生徒役に「日本語指導実習」に取り組みました。修了式では26名の受講者が卒業し「日本語指導サポーター」となりました。

2021年度の講座に関する詳細は下記の通りです。

当講座受講申込みの締切日は4月6日(火)です。意欲のある方のご参加を心からお待ちしております。



2021年度 青森県日本語指導サポーター講座の様子

【2021年度「青森県日本語指導サポーター養成講座」日程表】

(講座は、すべて土曜日に行います。会場はアスパム5階会議室「あすなる」です)

テーマ・時間(受講料)	実施日	主な内容
日本語研究 (日本語会話) A 10:00~17:10 (12,000円)	4月10日(土)	オムニバス形式で、「日本語教育入門」「日本語の発音」「言語政策とことば」「こどもの日本語教育実践」「看護・介護の現場の日本語」等の講義を行います。
	4月24日(土)	
	5月15日(土)	
	5月29日(土)	
日本語研究 (日本語会話) B 10:00~17:10 (12,000円)	6月12日(土)	オムニバス形式で、「日本語教育のための日本語分析」「日本語教育法」「教授法」等の講義を行います。
	6月26日(土)	
	7月3日(土)	
日本語指導実習 10:00~17:10 (9,000円)	7月24日(土)	日本語指導実習 日本語指導実習(2チームに分かれます)
	8月21日(土)	
	8月28日(土)	
	9月4日(土)	

開催日程ほか、詳細については当協会のホームページまたは養成講座チラシをご覧ください。

特別賛助会員の募集

「青森県日本語指導サポーター養成講座」等の多文化共生に係る事業の円滑な運営のために『特別賛助会員』を募集しています。一口一万円(複数口可)の会費ですが、2019年度から2021年度まで重点的に多文化共生の仕組みづくりができるよう、技能実習生雇用企業や監理団体をはじめ関係者の皆さんの積極的なご支援をお願いします。

青森県在留外国人人数（2020年6月末時点）について

～ 8年ぶり1.1%の減少～

青森県内の在留外国人の数は、2020年（令和2年）6月末で6,314人となりました。2015年以降、毎年10%前後の伸び率で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2019年12月末時点と比較し72人（△1.1%）の減少となりました。

減少した主な原因を在留資格別で見ると、最も大きく減少したのが「留学」で372人（対前年末比 △66人、△15.1%）となっています。その一方、「技能実習」は2,513人（同 △39人、△1.5%）と減少率はわずかとなっています。

国籍別の状況をみてみると、中国が対前年12月末比で△87人（△6.5%）と最も減少しており、これは、「技能実習」の減少が要因となっています。一方、ベトナムは、対前年末比で91人増（増加率4.8%）、フィリピンも10人増（同1.4%）となっており、これらの国は、「技能実習」が逆に増えた結果となりました。次の公表予定は、2021年7月頃（2020年12月末時点）ですが、この間、入国制限が厳しくなったことから、さらに減少することが推測されます。

*在留資格別 2019年12月末との比較

在留資格	2020年6月末(人)	構成比(%)	2019年12月末(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)
特別永住者	563	8.9	581	9.1	△ 18	△ 3.1
永住者	1,183	18.7	1,195	18.7	△ 12	△ 1.0
留学	372	5.9	438	6.9	△ 66	△ 15.1
技能実習	2,513	39.8	2,552	40.0	△ 39	△ 1.5
特定技能	33	0.5	4	0.1	29	725.0
技術・人文知識・国際業務	351	5.6	337	5.3	14	4.2
日本人の配偶者等	334	5.3	335	5.2	△ 1	△ 0.3
家族滞在	217	3.4	219	3.4	△ 2	△ 0.9
教育	150	2.4	164	2.6	△ 14	△ 8.5
技能	53	0.8	49	0.8	4	8.2
定住者	149	2.4	162	2.5	△ 13	△ 8.0
特定活動	240	3.8	189	3.0	51	27.0
その他	156	2.5	161	2.5	△ 5	△ 3.1
合計	6,314	100.0	6,386	100.0	△ 72	△ 1.1

*国籍別 2019年12月末との比較

国籍	2020年6月末(人)	構成比(%)	2019年12月末(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)
ベトナム	1,987	31.5	1,896	29.7	91	4.8
中国	1,248	19.8	1,335	20.9	△ 87	△ 6.5
韓国	751	11.9	781	12.2	△ 30	△ 3.8
フィリピン	746	11.8	736	11.5	10	1.4
アメリカ	368	5.8	384	6.0	△ 16	△ 4.2
インドネシア	171	2.7	171	2.7	0	0.0
カンボジア	143	2.3	136	2.1	7	5.1
タイ	119	1.9	121	1.9	△ 2	△ 1.7
ネパール	92	1.5	97	1.5	△ 5	△ 5.2
台湾	91	1.4	92	1.4	△ 1	△ 1.1
パキスタン	68	1.1	65	1.0	3	4.6
マレーシア	43	0.7	50	0.8	△ 7	△ 14.0
ミャンマー	36	0.6	38	0.6	△ 2	△ 5.3
モンゴル	28	0.4	26	0.4	2	7.7
その他	423	6.7	458	7.2	△ 35	△ 7.6
合計	6,314	100.0	6,386	100.0	△ 72	△ 1.1

参照：法務省ホームページ/在留外国人統計（旧登録外国人）統計表

詳細は、青森県国際交流協会ホームページ「便利情報」をご覧ください。

青森県外国人相談窓口 第2回「ワンストップ相談会」を行いました



2月13日（土）、青森県国際交流協会では、2020年度第2回ワンストップ相談会を開催しました。今回の相談会においては、仙台出入国在留管理局青森出張所や青森労働局、青森県弁護士会、青森県行政書士会などの方々に法律手続き等の相談に応じていただきました。

青森県外国人相談窓口では、2021年度も引き続き以下の日程でワンストップ相談会を開催する予定です。皆さまのお知り合いの外国人の方々に、お知らせくださるようお願いいたします。

青森県外国人相談窓口 2021年度「ワンストップ相談会」開催予定

第1回：2021年6月19日（土）14：00～16：30

第2回：2021年10月31日（日）13：00～16：00

第3回：2022年2月19日（土）13：00～16：00

*くわしくは青森県国際交流協会のホームページ、フェイスブックをご覧ください。

なかとまり にほんごカフェ in 中泊 Open!!

青森県北津軽郡中泊町に「にほんごカフェ」がオープンしました。「にほんごカフェ」といっても、お店ができたわけではありません。お茶を飲みながら日本語でおしゃべりをするカフェのような日本語教室です。「カフェ」と名乗ってはいますが、新型コロナウイルス感染症の予防のため飲食できないので、お茶とお菓子はお土産に持って帰ります。

昨年末、12月25日（金）のクリスマスに第1回目が行われ、中泊町に住む技能実習生16名が参加しました。このカフェは毎月最終金曜にオープンして、各回テーマを決めています。

カフェの運営は、青森大学国際交流センターが中心となり、中泊町の協力と弘前大学、そして「青森県日本語指導サポーター養成講座」に登録された「日本語指導サポーター」が行っています。



にほんごカフェのチラシ



1回目は、「年賀状づくり」で実際に年賀状を作成しました。作品は庁舎のロビーに飾られています。参加者は16名でしたが、あまりの出来の良さに持ち帰った参加者が多く、ロビーに掲示できたのは5枚だけでした。

2回目は、「節分とバレンタインデー」で、豆を入れる箱を作って、鬼に見立てたペットボトルに向かって豆まきをしました。当初は1月の開催を予定していましたが、悪天候（風速10m以上）のため延期となり、節分が過ぎてからの開催になりました。実習生送迎スタッフの不在により参加できなかった実習生もあり、参加者は10名でした。また、間近に迫ったバレンタインデーにちなみ「自分の大切な人について」の作文も書きました。

サポーターは教案作りに参加したり、グループ分けされた各テーブルでのサポートを行ったりしています。実習生3人に1人のサポーターが必要になりますが、冬場ということもあり参加できるサポーターの数が不足しているため、役場の職員の方もサポートに入っています。

なお現在も、サポーター募集中です。



第1回目参加者全員での記念撮影(上)
中泊町庁舎に展示されている年賀状(下)

この「にほんごカフェ」に参加しているサポーターの声をお聞きください。

◎地域に技能実習生が多くいることを実感しました。にほんごカフェに参加してみて、日本語の支援はこれからも必要になると感じました。支援をされていて日本語の「大丈夫」はニュアンスでいろいろな意味に変わるので、安易に使ってはいけないと感じています。（太田サポーター）



実習生と太田サポーター



実習生と岩川サポーター

◎町の職員との連絡調整をしています。地元ということもあり、ある程度組織の状況を理解しているので調整のタイミングなどを合わせて十分な協力をいただいています。カフェを開催する会場を町から提供していただけるかどうかはとても重要だと思います。支援で心がけていることは、「なまり」が残らないようにすること。ずっとこの地域にいるわけではないので、ほかの地域に移ったときに「日本語が通じない」ということのないようにです。

（岩川サポーター）

中泊町の在住外国人は、2020年6月末現在で76名。町内に住む外国人に対して不安に思ったり、誤解をしている地域住民もいるという話が増えてきています。町としては今後、地域住民と在住外国人とが交流する場を設けるなど、多文化共生の実現に向け様々な取組みを考えているそうです。

2月26日、地震発生時の救急救命訓練を実習生2名が代表で行いました



JICA

トピック

topic

JICA青森デスク 国際協力推進員着任のお知らせ

初めまして！ この度、素敵なお縁によって2月から国際協力推進員としてJICA青森デスクに着任しました。阿部翔太（あべしょうた）と申します。

国際協力分野で青森県を盛り上げられるよう精進致しますので今後ともよろしくお願ひ致します！

プロフィール

【名前】 あべしょうた→別名：チョタ

【年齢】 29歳

【血液型】 B型

【出身】 福島県いわき市

【部活歴】 小学校→マーチングバンド部
中学校～大学4年生→野球部

【経歴】 ブライダル業界→青年海外協力隊
(ニカラグア) →保険営業→青森
県国際協力推進員 (青森県)

【趣味】 **野球** = 野球で渡った国は、なんと10カ国!!! ニカラグア・ドミニカ共和国・コスタリカ・コロンビア・メキシコ・韓国・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド・フィリピン
そのほかの趣味は、筋トレ・読書・写真&動画・旅行・温泉・コーヒー・地物巡り など



2018年11月に実施したクラウドファンディングでの活動で再びニカラグアへ女子野球の普及へ行ったときの写真です。ニカラグア野球連盟会長に日本製のバットを寄贈しました。

メッセージ

2016年から2年間、JICA青年海外協力隊として中米ニカラグアに赴任しました。任地ではニカラグア野球連盟に所属し、U-12からU-18までの強化指導と地域に出張し野球の普及活動を行いました。

ニカラグアでの経験から、自分自身が生活している日本の環境が他国では当たり前ではないことを心から実感しました。正直、このような経験や考えをもっと早くから持ちたかったという思いもあります。なので、私の経験を多くの青森県の子供たちに伝え、自分の好きなことを自由に挑戦できる環境が整っている日本でもっともっと夢に向かって生きてほしい、そしてニカラグアのような後進国の子供たちに夢を与えてほしいと思っています。

また、青森県に移住して少しの期間しか経っていませんが、青森県が大好きです。美味しいご飯、伝統文化、そして何より温かい県民性が大好きです。

国際協力推進員として『国際協力』と言うイメージがしにくい分野を誰でも理解することができ、行動に移せるよう工夫していきますので是非お気軽にお問合せください。



ニカラグアの子供野球選手15歳のミッチェルに指導をしています。キャッチャーになるため必死にアドバイスを聞いています。

JICA国際協力推進員 (JICA青森デスク)

阿部翔太

〒030-0803 青森県青森市安方1丁目1-40

青森県観光物産館アスパム7階

(公財) 青森県国際交流協会内

TEL : 080-3140-2129

Email : jicadpd-desk-aomoriken@jica.go.jp

災害時の外国人支援についての 基礎研修会を行いました



講師の高木和彦氏

2021年2月4日、当協会では災害時の外国人支援に関する基礎研修会を開催しました。研修は、会場に会場し受講する参加者とともに遠隔地からはZOOMでの参加となりました。日頃防災に関わる方々や県内市町村で防災施策を展開する担当者など約60名が参加しました。

研修では、NPO法人 多文化共生マネージャー全国協議会副代表理事の高木和彦氏を講師に迎え、災害時における外国人支援はどうあるべきかについて、①災害時に外国人が抱える課題と対応、②災害時の外国人被災者支援活動、③災害時多言語支援センターの機能と役割などを講義していただきました。

いうまでもなく、日本では毎年のように地震や洪水などの災害が発生しています。しかし外国人の中には、そのような災害が発生しない国からやってきている人もいます。日本では何か災害が起きた時、具体的な初期対応として避難勧告や避難指示が発令され避難所が設置されますが、外国人は日本語がわからない、災害に関する知識がないことなどから適切な避難行動がとれないことも考えられます。

そういった点を踏まえ、講師は様々な事例をもとに、災害時には外国人に向けた支援が必要不可欠であること、それは何か特別なことをすることではなく、災害後に元の生活に戻るための支援は日本人も外国人も同様であること、留意点として外国人被災者への情報提供に格差を生じさせないこと、相談対応を行うこと、被災者の心のケアにも取り組むこと、災害時特有の言葉をわかりやすく伝え安心してもらうことなどを教えていただきました。



グループごとの演習課題に取り組む参加者

講義に続き参加者はいくつかのグループに分かれ演習課題にも取り組みました。演習課題は災害時における外国人被災者支援活動では何が必要かを考え、その項目として、①外国人住民に対する防災教育、②災害発生時のキーパーソンづくり、③具体的な支援体制の構築などについて話し合い、意見発表を行いました。また、オンラインで参加していた県内市町村の担当者からも様々な意見提案が寄せられました。



研修中の参加者

① 外国人住民に対する防災教育

- ・外国人にも町内会に加入してもらい、防災訓練に参加してもらう。
- ・防災情報をYou Tubeなどで発信する。
- ・国際交流団体の活動で外国人向けに防災教育を行う。
- ・市町村から配布される「お守り手帳」に多言語の表記をする。 など

② 災害発生時のキーパーソンづくり

- ・町内会活動に外国人も加わってもらい、その中からキーパーソンになりそうな人を育成する。
- ・大学などへの留学生にも防災訓練を行い、協力体制を作る。 等

③ 具体的な支援体制の構築

- ・災害時に支援に携わる団体間の顔合わせを行い話し合う。
- ・些細なことでも情報交換を行う。そのためにはオンライン会議も活用する。
- ・国際交流協会など相談ごとに対応する組織間の連携を図る。 など

青森県では初めてこのテーマでの研修を開催しましたが、引き続き災害時の外国人支援のより良い体制づくりに取り組んでいきたいと考えます。



青森県国際交流協会 通訳相談員 金 美淑

子供たちが学校に通い始めてから10日目に、私は5年生の担任の先生からある提案をされました。それは5年生全員が集まった教室で、社会科の一環として韓国の文化について授業することでした。

私はあらかじめ韓国から持って来た太極旗（テグッキ）、韓服（ハンボク）、団扇（ブチエ）、金属製の食器などを見せながら韓国の衣食住について説明しました。特に韓国の5年生の教科書に対しては、子供たちはたいへん興味深く喜んでいました。

その日、私の心の中に大きな天国が入って来るような思いをしました。それは男の子と女の子の2人にハンボクを着せてやった時でした。ハンボクを着ている子供2人の姿はなんと韓国人にそっくりでした。みんなの反応も非常に良くて騒いでいる子供たちを後ろにし、私は感動の涙をめぐいました。子供のハンボクを通して敵意が和解に、戦争が平和に変わる瞬間でした。

その子供たちの姿には支配と被支配、差別と被差別の暗い残酷な過去のことはどこにもありませんでした。凶弾の傷跡や刀と槍の傷跡も見られませんでした。ただ、子供たちは将来に自分たちが今見ているハンボクというものをきれいな韓国の民族衣装として記憶の中から思い出すでしょう。そして、韓国から来たおばさんに見てもらった韓国のをめずらしく見物できたという楽しい思い出だけを心におさめるでしょう。

また、私が眠れないほど感動を受けたことは、私の授業を聞いた120人の5年の子供たちからお礼の手紙をもらった時でした。ここで何人かの子供の手紙を紹介させていただきます。（うちの息子の名前はYです）

夏休みも冬休みも長いから、韓国に引っ越したくなりました。（O君）

韓国の服を着せてもらいました。うれしかったです。（S君）

Yさんと一緒にサッカーができてうれしいです。（K君）

Yさんと友達になれたのでよかったです。（T君）

もっと韓国について詳しく調べてみたいなあと思いました。（Iさん）

Yさんとは友達になりたいです。（F君）

韓国の文化や生活を知ることができたので、学習に活かしたいです。（M君）

前から韓国のことは好きだったけど、もっと韓国のことが好きになりました。（Bさん）

子供たちみんなが心を込めて感謝の気持ちを表してくれました。私は、この子供たちにこれからの日本と韓国の「希望」を見ることができました。また、自分がどうして日本に導かれたのかははっきり分かりました。私は子供たちの気持ちに応え、120人分の韓国料理（ほんの少しでしたが）を作って給食の時間に食べてもらいました。まさに平和の祝宴でした。平和こそ真の力であり、希望なのです。

今年、息子は大学1年生になります。子供の時から歴史が好きで日本に来る時も三国志の分厚い本を持ってきてよく読んでいました。大学では東アジアの歴史を勉強して韓国と日本の歴史に迫ってみたいと思っています。娘は大学で比較文化を学んでいて中国語にも興味を持つようになりました。私は子供二人が日本の学校で使っていた学校用品や制服、特に日本に来てすぐに使用した学習ノートをそのまま持っています（学校だより



五戸町 正子（しょうこ）の「チューリップ園」にて

さえ）。いや捨てられないのです。子供が苦闘していた時間、がんばっていた物を簡単に捨てることができませんでした。大人になっても行き詰ったり、戸惑ったりすることはあるでしょう。その時に子供と一緒にノートを見ながら「一つの屋根の下、二つの国でがんばっていたね！」ともう一度踏ん張ってもらいたいのです。子供を育てるのは親ではありませんでした。子供が自分自身を育てていました。苦しんでいたのは子供でした。その子供をあたたかい眼差しで成長させてくれた青森に私は希望を見ているのです。（終わり）

2021年度 民間国際活動団体助成事業の助成金交付団体が決まりました

当協会では、青森県内の任意団体又は営利を主たる目的としない団体が行う国際交流・国際協力活動に対し民間国際活動団体助成金を交付しています。2021年度は2団体への交付が決定しました。



在住外国人の支援に関する事業

団体名：弘前日本語クラブ	事業名：日本語学習支援
主な活動内容：自己学習する在住外国人への学習支援	

国際友好親善及び国際理解を促進する事業

団体名：一般社団法人青森県ユネスコ協会	事業名：在日外国人との交流事業（グローバルパーティー）
主な活動内容：県内在住外国人と県民とのクイズやゲームを通じた異文化交流	

国際交流サポーターを募集しています

当協会では、国際交流サポーターを随時募集しています。登録を希望される方は、ホームページより登録用紙をダウンロードしていただき、ご記入の上、メール・郵送・持参のいずれかにより当協会へご提出ください。なお、国際交流サポーターへの連絡方法は、基本的にメールとなるため、メールアドレスのご記入が必須となります。



語学サポーター	通訳や翻訳をはじめ、多文化共生に伴う、外国人への対応（法律相談・災害時多言語支援・医療通訳等）にご協力いただける方
ホストファミリーサポーター	国の方々をご家庭で受け入れ、お互いの文化や習慣を理解し合う気持ちをお持ちの方
イベント等ボランティア	国際交流イベントへご協力いただける方や当協会ラウンジ業務等をサポートいただける方

詳細は、* [協会ホームページトップ](#) → [協会のご案内](#) → [国際交流サポーター](#)

URL : <http://www.kokusai-koryu.jp/about/volunteer/recruitment.html>

つうしん次回からの連載記事の予告

情報誌つうしんでは、次回から新しい連載を予定しています。

① 知っていますか？ イスラム教 (仮題)

私たち青森県国際交流協会のスタッフは、昨年末から数回にわたり当協会相談員を講師にイスラム教に関する勉強会を行い、イスラム教の始まりからその詳しい内容を学びました。

結論を先に述べるとこの勉強会を通し、私たちはイスラム教を知る入口に立った程度で、その先は他の宗教と同じように奥の深いものであると感じました。次回から、講師にお話をいただいたイスラム教について随時お伝えします。

(右写真=イスラム教の聖書「クルアーン」。一般的には「コーラン」という言葉で知られていますが、正確にはクルアーンです。)



② 青森とロシアの交流の歴史 (仮題)

あまり知られていないことですが、青森県とロシアには200年近い交流の歴史があります。そして様々な出来事があり、多くの人たちが登場関わっていきます。手に汗を握るような事件、思わず涙を誘う話も少なくありません。中には小説や漫画で取り上げられているものもあります。明治、大正、昭和と時代ごとに紹介します。

青森県内の国際交流事業・イベント紹介

●弘前日本語クラブ

当クラブは、弘前市近郊に住む日本語学習者のサポートや国際交流を目的に活動しています。日本語の勉強をしたいという方や、日本語を教えてみたいという方も随時募集しております。

- 日 時：毎週火曜日 19:00~21:00
- 期 間：前期 2021年4月~7月 後期 9月~12月
- 授業内容：日本語能力試験に向けた授業を行います。N1~N5各クラス3~5人の定員制です。
- 場 所：宮川交流センター（弘前市大字堅田2-2-6）
- 参加費：前期・後期 各1,500円
- お申込み・お問合せ先：弘前日本語クラブ
E-mail: hnc1900@yahoo.co.jp
Website: http://hnc.g1.xrea.com/

*当クラブでは、新型コロナウイルス感染対策を行っています。授業の開催など急な予定変更もあります。ホームページなどで確認をお願いします。詳しいことにつきましては、事前にメールでご連絡のうえ、会場にお越しください。

●日本語学習支援「青い森」今年度の活動について

「日本語学習支援・青い森」は近いうちに活動を開始する予定です。開催日時や場所、内容などにつきましては、もうしばらくお待ちください。



●NPO法人みちのく国際日本語教育センター

八戸日本語教室の春学期のお知らせです。

	火曜日コース	水曜日コース
開催期間	4月6日から	4月7日から
実施回数	14回	14回
時 間	18:30~20:30	18:30~20:30

授業はすべてオンライン（Zoom）で行われます。
“Zoom Cloud Meeting” をダウンロードしてください。

Online Japanese Class will start on April 6 (Tue.)

& April 7 (Wed.) from 18:30 to 20:30.

Please download “Zoom Cloud Meeting”.

詳しくは下記アドレスまでお問い合わせください。

メールアドレス: michinokunihongo@gmail.com

Please mail to michinokunihongo@gmail.com for further information.

●みさわ国際交流協会

オンラインでの語学講座と日本語講座の受講者を募集しています。語学講座では、外国人講師が指導をします。

☆オンライン語学講座

■オンライン キッズ英語（日曜日開講）
日 時：4/18・5/16・6/13 10:00~10:30
受講料：（全3回） ¥3,000/ファミリー参加
（1回限り） ¥1,300/ファミリー参加

■オンライン 英会話クラス（月曜日開講）
日 時：4/12・4/19・4/26・5/10・5/17・5/24
18:45~19:45
受講料：（全6回） ¥3,000

■オンライン（ニヶ国語）
英語でわかるやさしいスペイン語会話（水曜日開講）
日 時：4/14・4/21・4/28・5/12・5/19・5/26
10:00~11:00
料 金：（全6回） ¥3,000

☆オンライン日本語講座

■エブリデイ ジャパニーズ レベル1（木曜日開講）
日 時：4/1・4/8・4/15・4/22・4/29・5/6・5/13
5/20・5/27・6/3 18:45~19:45
受講料：（全10回） ¥6,000 テキスト代： ¥1,000

■エブリデイ ジャパニーズ レベル2（木曜日開講）
日 時：4/1・4/8・4/15・4/22・4/29・5/6・5/13・
5/20・5/27・6/3 17:30~18:30
受講料：（全10回） ¥6,000 テキスト代： ¥1,000

■エブリデイ ジャパニーズ レベル3（月曜日開講）
日 時：4/5・4/12・4/19・4/26・5/3・5/10・5/17・
5/24・6/7・6/14 17:30~18:30
受講料：（全10回） ¥6,000 テキスト代： ¥1,000

・受講にはZOOM環境が必要です。お申込みはE-mailでお願いします。ご希望の講座名、氏名、連絡先電話番号をお知らせください。

・お申し込み後に受講料のお支払方法をご案内いたします。

お申し込み・お問い合わせ

みさわ国際交流協会

三沢市大字三沢字園沢230-1（国際交流教育センター内）

電話：080-6022-1349

E-mail: misawa.mia@outlook.jp

公益財団法人青森県国際交流協会 Aomori International Association

国際交流ラウンジ/International Lounge

〒030-0803 青森市安方1丁目1-40
青森県観光物産館アスパム2F
ASPAM BLDG. 2F, 1-1-40, Yasukata, Aomori-shi.
Post-Code: 030-0803
TEL: 017-718-5147 FAX: 017-718-5148
E-mail: lounge_supporter@kokusai-koryu.jp

事務局/Office

〒030-0803 青森市安方1丁目1-40
青森県観光物産館アスパム7F
ASPAM BLDG. 7F, 1-1-40, Yasukata, Aomori-shi.
Post-Code: 030-0803
TEL: 017-735-2221 FAX: 017-735-2252
E-mail: info@kokusai-koryu.jp



アスパム 7F
ASPAM bldg. 7F

*国際交流ラウンジカウンター/青森県外国人相談窓口

受付時間/10:00~17:00

休日/毎週月曜日 年末・年始休日/12月31日~1月3日
アスパム休館日

Website: http://www.kokusai-koryu.jp

Facebook: https://www.facebook.com/aomori.kokusai.koryu

Twitter: https://twitter.com/aomorikokusai